

# 見つめようわたしたちのくらしとごみ

## ～地域におけるごみの処理～

4年社会 7月初旬 42Q (14時間)

### 1 単元のねらい

- 地域のごみの処理の過程やきまり、ごみの資源化の取組について、自分の生活を基に調べたり考えたりすることを通して、ごみの適切な処理や資源化の大切さに気づき、地域のごみの処理について理解することができる。

[(3)ア・イ]

- ア 飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり。
- イ これらの対策や事業は計画的、協力的に進められていること。

### 2 身に付けさせたい知識や技能のとらえ

ごみを分別するのは、ごみと資源物とをきちんと分けて資源化するためだ。

### 3 単元の計画

	【学習活動】	【働き掛け】	Q	
第 一 次	○ 学校では、どのようなごみがどれくらい出されているか調べる。 ・教室では紙類のごみが多い。 ・給食室からは食べ残しもごみとして出されている。	◆ 学校では、どのようなごみが出されるかを予想させ、学校のごみ調べをさせる。	6 Q	
	○ 家庭では、どのようなごみがどのように出されているか話し合う。 ・種類ごとに分けて出している。 ・種類ごとに出す日が決まっている。 ・ごみカレンダーがある。 ・ごみステーションにごみを持っていくと、ごみ収集車のごみを集めて行く。 ○ 家庭では、どのようなごみをどのように出しているか調べる(宿題) ・地域によって出すごみの種類と曜日が違っている。 ・ごみは10種類に分けられている。 ・燃やすごみと燃やさないごみの袋は有料だった。	◆ ごみステーションの写真を提示し、気付いたことを問う。  ◆ 自分の家では、どんなごみがどのように出されているかを問う。  ◆ 調べた結果を発表させ、気付いたことを問う。  ◆ ごみの種類や集め方の共通点や相違点を問い、学習課題を提示する。	6 Q	
	<b>【単元を貫く課題】</b> 私たちが出したごみは、どのようにして集められ、処理されるのだろうか			
	○ 学習課題についての予想を立て、見学の計画を立てる。 ・教科書や図書資料を調べ、予想を立てる。 ・予想を出し、見学の視点をもつ。	◆ 学習課題についての予想を考えさせる。 ◆ 予想を出し合い、見学の視点をもたせる。	3 Q	
○ 亀田清掃センターへ見学に行く。 ・見学をして分かったことや驚いたことをノートにまとめる。 ・疑問に思ったことを質問する。	◆ 見学へ行き、分かったことや驚いたことをノートにまとめさせる。 ◆ 疑問に思ったことをインタビューさせる。	6 Q		
第 二 次	○ 新潟市で出るごみの量や埋め立て地の現状を知り、ごみに対する問題意識をもつ。 ・毎日たくさんのごみが出ている。 ○ 新潟市の人口とごみの量の推移をグラフから読み取る。 ・新潟市でごみの量が減っている理由を考える。	◆ 新潟市で1日に出るごみの量や、埋め立て地の現状がわかる資料を提示する。  ◆ 新潟市の人口が増えている事実と、出されるごみの量が減っている事実をグラフから読み取らせる。	3 Q	
	○ 自分の生活経験や既存の社会認識、	◆ 自分の生活経験や実態を想起させる具		

第二次	<p>学校のごみ調べの結果を基に、どうしてごみの量が減ってきているのかを考え、仮説を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルされるごみ（資源物）の量が、自分たちや地域の人々の協力で増えているから、ごみの量が減った。</li> </ul> <p>○ 資料やグラフを基に、資源物の回収量が増えていることがわかる。</p> <p><b>○ ごみを分別するのは、ごみと資源物とを分けるためだ。</b></p> <p><b>【学習問題】</b> どうして人が手作業で袋の中身を出しているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルするために細かくしている。</li> <li>・きちんと分別しないで捨てている人がいるからさらに分別している。</li> </ul>	<p>体物を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学校のごみ調べの結果を提示し、ごみが減っていることについて、どのようなことが言えそうかを問う。</li> <li>◆ 新ごみ減量制度の資料と、資源物の回収量のグラフを提示し、わかったことを問う。</li> <li>◆ 選別工場で働く人々が、袋の中身を取り出している写真を提示し、知りたいことを問う。</li> </ul> 	3Q
	<p>○ ごみの分別体験をし、正しい分別の基準を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい分別の仕方を知らなかった。</li> <li>・きちんと分別していなかった。</li> </ul> <p>○ ごみの分別の意味を理解する。</p> <p><b>○ ごみを分別するのは、ごみと資源物とをきちんと分けて資源化するためだ。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学習問題に対する予想をワークシートに記述させる。</li> <li>◆ ごみの分別体験をさせる。</li> <li>◆ 「プラスチック製容器包装」の正しい分別の基準がわかる資料を提示する。</li> <li>◆ 学習問題についての仮説を考えさせる。</li> <li>◆ 選別工場で働く人のVTRを見せ、わかったことを問う。</li> </ul>	3Q
第三次	<p>○ 資源物がリサイクルされるまでや、再生された製品について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源物はたくさんあって、いろいろな物に再生して使われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ どのような資源物があり、どのようにリサイクルされているかを問う。</li> <li>◆ 資源物の資料を提示し、どんな物が、どのように再生するかを調べさせる。</li> </ul>	4Q
	<p>○ 資源物のリサイクルにかかわる問題点について知り、解決するための方法を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクルするにはお金がかかる。</li> <li>・資源物は繰り返し使うことができる。</li> </ul> <p>○ 3Rについて、新潟市の環境広報誌を活用し、意見文を書く。</p> <p><b>○ ごみと同じように捨てるのではなく、繰り返し使ったり、進んで使ったりすることが大切だ。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 資源物の処理、再生、活用についての問題点を提示し、気付いたことを問う。</li> <li>◆ 詰め替え商品やマイボトルを提示し、共通点を問う。</li> <li>◆ 資源物の処理、再生、活用で必要なことを問う。</li> <li>◆ 新潟市の環境広報誌を配付し、「わたしたちのくらしと3R」というテーマで意見文を書かせる。</li> </ul>	8Q

#### 4 準備するもの及び留意点

- ごみカレンダー（新潟市版）
- ごみと資源物の回収量グラフ
- PSC（株）VTR（自作）
- ごみ分別百科事典
- 新潟市「新ごみ減量制度」パンフレット
- リサイクル製品 など

#### 5 内容との関連

